

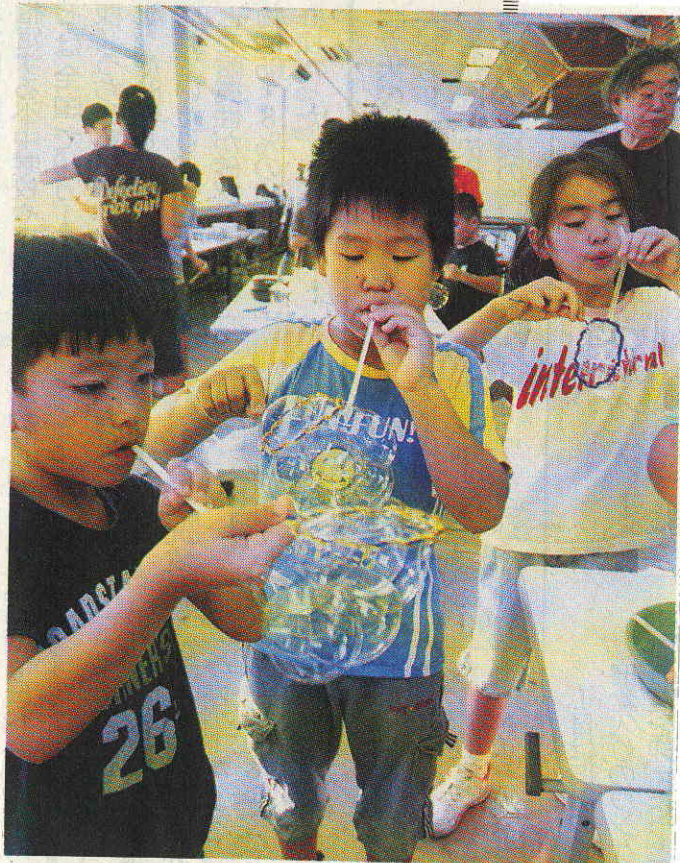
いろいろな形に夢中

NPO法人教育支援協会が企画・運営する「カバゴンの『おもしろサイエンス』」シャボン玉大会」が8月27日、真和志支所内のこどもデザイン室で開かれた。「カバゴン先生」の愛称で知られる教育評論家の阿部進さんが講師を務め、約30人の子どもたちがさまざまな形のシャボン玉作りにチャレンジした。

カバゴン先生のシャボン玉大会

阿部さんは金魚すくいの輪やホースなどの道具を使ってシャボン玉の作り方を指導した。子どもたちも丸いだけではなく形に出来る上がるシャボン玉作りに夢中だった。

科学者のニュートンもシャボン玉研究に熱心だったと説明した阿部さんは「おもしろいことを自分で見つけ、追求することが大切だ」と話していた。参加した菊地遼君(10)は「いつもと違うやり方の実験で楽しい」と笑顔を見せた。



カバゴン先生(右後方)の指導を受け幾重にも連なるシャボン玉づくりに挑戦する子どもたち
＝こどもデザイン室